

申請書作成の手引き

『国際交流援助』(研究発表)

『国際交流援助』(研究発表)申請書の作成において、特にご留意いただきたい項目に関し、以下に説明等を列挙いたします。

なお、本申請書全体にわたり、記載文字のサイズは、10.5 または 11 ポイントをご使用下さい。また書き切れない場合は、同一様式のページを追加していただいて構いませんが、完成総ページ数が必ず 4 ページ以内(図表、写真を含む、カラー可)に収まるようご努力下さい。

2. 発表論文の共著者名

本研究が複数の研究者との共同によるものである場合、本研究の遂行に関わる研究者全員の氏名、年齢、所属機関、職位をご記載下さい。また、申請者ご本人を含め、各研究者の役割についてもご記載下さい。なお、本研究が申請者一人によるものである場合は、「共同研究者なし」とご記載下さい。

4. 発表する論文に関わる研究の概要

本研究の全体像について、「4-1. 研究の目的」、「4-2. 研究の意義」、「4-3. 研究の独創性」、「4-4. 成果と波及効果」、「4-5. これまでの研究の経緯」を簡潔にお書き下さい。

・「4-2. 研究の意義」

本研究の学術的・社会的意義、および学術分野または社会で必要とされる理由を簡潔にご記載下さい。

・「4-3. 研究の独創性」

本研究の独創性について、狙いや目的ではなく、それらを達成するためのアプローチや手段等の新規性や独創性をできるだけ客観的かつ簡潔に述べて下さい。国内外を問わず、他の研究者によって行われた本研究と類似または関連する研究が存在する場合、それらの研究との関係を含め、本研究が独創的である理由を分かりやすく簡潔に記述して下さい。

・「4-4. 成果と波及効果」

本研究が成功した場合に見込まれる成果と波及効果を、学術的観点と社会的観点それぞれについて、簡潔に記述して下さい。

・「4-5. これまでの研究の経緯」

申請者が研究者としてこれまで行ってきた研究活動の概略を、「年代」、「所属」、「身分」、「研究テーマ」、「成果」、「関連受賞歴」等とともに、整理してご記載下さい。

5. 研究業績

本研究に関連する過去3年間の主な「研究論文」(査読付きの学会原著論文のみ)、「国際会議発表」、「特許」、「受賞」、「マスコミ報道」等を、現在から過去にさかのぼって順に列挙して下さい。また、本研究にもっとも関係の深い研究論文1編または国際会議発表1件(また、あれば特許1件にも)に○を付け、それらの別刷(コピー可)1編を添付して下さい。

・「研究論文(原著)」

著者・共著者名(本助成の申請者名に下線を付す)、論文題目、掲載紙の名称及びその巻号、掲載ページ、発表年度の順にご記載下さい。また、招待論文の場合は、発表年度の後に[招待]と明記して下さい。なお、招待論文につきましては、エビデンスを求めさせていただきます。

・「国際会議発表」

発表者・共同発表者名(本助成の申請者名に下線を付す)、発表題目、集会の名称及び掲載プロシーディングス等の名称及びその巻号、掲載ページ、発表年度の順にご記載下さい。また、招待講演の場合は、発表年度の後に[招待]と明記して下さい。なお、招待講演につきましては、エビデンスを求めさせていただきます。

・「特許」

発明者・共同発明者名(本助成の申請者名に下線を付す)、発明の名称、特許番号(または出願番号)、出願日の順にご記載下さい。

・「受賞」

受賞者・共同受賞者名(本助成の申請者名に下線を付す)、表彰の名称、表彰組織、表彰年度の順にご記載下さい。

(注意) 国内会議・研究会等での口頭発表は記載しないで下さい。